

とんぷく

2017年12月21日
発行
京大職組病院支部
第17-1号
通算2730号

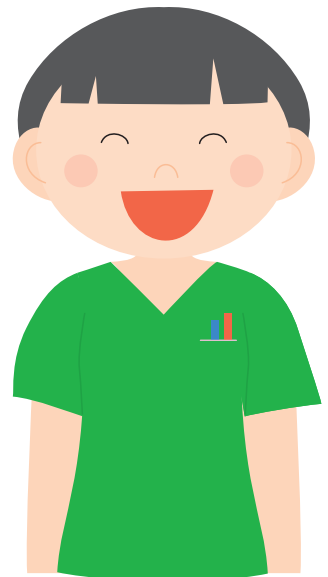
仕事のこと etc お気軽に下記へ
京都大学職員組合連絡先
内線 16-7615・電話：761-8916
FAX：751-8365
email：hot-sibu@kyodai-union.org

10月4日
病院長懇談

私たちの思いが、病院長 そして大学に届きました。 長日手当は現状を伝えました!!



10月4日 病院長懇談を行いました。
稲垣病院長、田中事務部長、はじめ4名が参加されました。
昨年に引き続き、特定有期雇用の常勤化について、看護師の働き方について重点を置き意見交換いたしました。



特定有期雇用問題

大学の予算が1.6%削られている一方で、大学病院は特定機能病院として年々大きくなってきている。Ⅱ期病棟建設で急性期病棟、重症ケアユニットの準備は進んでいる。継続して優秀な人材確保をしていきたい考えは病院も同じであり、2年間本部と闘って、理解してもらい最終協力を得られた。今年はB定員(※病院雇いの常勤職員)数を看護師で100人、その他の医療スタッフで20人以上の常勤を増やすという画期的なことができた。常勤が増えることは、良いことではあるが、B定員の経費は病院が支払うため、病院の利益が上がるのが前提になる。

また、常勤化する職員については、各部署で長い目で見て安定的に継続できるよう計画的に取り組んでもらいたいと説明された。

看護師の働き方、手当について

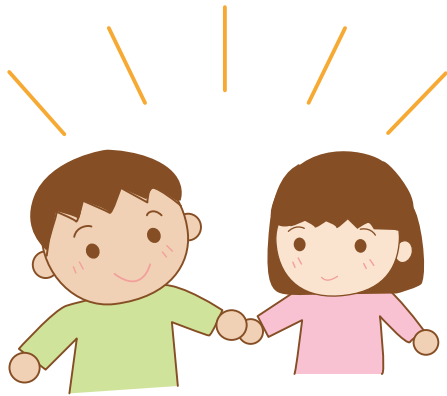
中堅のモチベーションを上げる方法として手当を要求しているが、病院だけ手当てがつくのはおかしい。どんな職種も人事評価にて給与に反映しているため、手当より人事評価での対応を進められた。

(裏面へ続く)

.....

そこで長日勤での過重勤務、長時間の緊張など負担を説明。この長日勤務は子育て等でできない人もいる為、中堅看護師に負担となっていることも説明。長日勤務は12時間夜勤にセットの勤務であるが、夜勤のみ手当がついている。本来二交替制になった時に手当を付けている大学もあることも情報提供した。

子育て勤務者では夜勤より勤務しにくい。長日・夜勤を公平に常勤者が夜勤に入れる体制を考えてほしい。夜間保育日数をもう少し増やすなど、保育体制も検討してほしい意見も伝えた。



働き方はとても重要になってくる。子育て世代がどうやったらもっと働けるか、合わせて考えていきたいと話された。

保育所問題

保育所の展望としては、西病棟が移転した跡地に院内保育所を拡充することを検討している。一定の場所が確保できるまでは流動的になる。現在取り組まれている病児保育や臨時保育（台風など）はとても助かる。ただ少ない人数で利用待ちとなるので、受け入れなどの拡充も検討を伝えた。



【 給与明細の見方 勉強会開催 】

9月27日・28日の2日間で給与明細の見方の勉強会を開催しました。両日ともに組合員・未組合員さん合わせて20名程度の皆様に参加をいただきました。

給与明細左上の方に書いてある125・130・150・160の数字の『ヒ★ミ★ツ』や『勤務体系が変わったわけでもないのに、先月より給料少ない気がする～、多い気がする～』の疑問や各種手当の見方などについて行政書士の先生や、事務方の組合役員さんにレクチャーを受けながら学習しました。自分の



時給がおおよそ幾らかも明細を見れば知ることできるんです、ご存じでしたか？学習会では給与総額・残業代しかこれまで見なかった方もおられました。これからは手当の欄も確認が大切ですね。給与の支払いがどのようなシステムになっているか知ることでお金に関する知識も増えたと思います。開催後のアンケート結果からも好評だった意見をいただいております。

今後は組合の金融、法律、保育などのネットワークを生かして、組合員のみなさんに還元できるような勉強会も開催予定です。こんな勉強会をしてほしいなどご意見ありましたら、お気軽に組合までお知らせください。お問い合わせ先は表面連絡先まで。新規加入のお知らせもお待ちしています。

